

公益財団法人日本刀文化振興協会

令和2年度事業計画

(令和2年12月1日～令和3年11月30日)

1. 公益目的事業（刀職者を対象とする事業）〈公1〉

① 第13回刀職者実技研修会

会期：令和3年8月27日(木)～29日(日)の3日間

会場：坂城町中心市街地コミュニティセンター（長野県）

参加：5職種各6～8名計約35名を予定

内容：日本刀に係る伝統技術の内、刀身作成・研磨・拵下地・金具作成・柄巻きの5職種を対象に、高度の専門職方を育成する為の技術・知識・意識教育。同時に講習の妨げにならない範囲で一般に公開し、日本刀及びこれに係る伝統技術の理解に供する。

② 日本刀に関わる人材育成技能研修事業（刀剣修復特殊技能研修事業）

（研磨・白鞘・白鞘・白銀・刀装具）※文化庁育成事業

会場（開催時期）：佐野美術館（1月18日（月）～20日（水）の3日間）

講師：予定5名 研修生：予定6名

③ 第11回新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会

主催：公益財団法人日本刀文化振興協会、長野県埴科郡坂城町、坂城町鉄の展示館

共催：信濃毎日新聞社ほか

部門：作刀、研磨、外装、押形

会期：前期 令和3年6月6日(土)～7月18日(土) 明治神宮宝物殿（東京都）

後期 令和3年7月22日(水)～8月29日(日) 坂城町鉄の展示館（長野県）

※日程については多少変更の可能性もあります。

後援：関係省庁、長野県ほか（予定）

授賞：（特別賞）大臣賞、長野県知事賞、信濃毎日新聞社賞、坂城町町長賞ほか

内容：作刀・彫金・研磨・刀装等日本刀に係る全ての伝統技術を対象に作品を公募し、厳正な審査を実施、優れた技術を顕彰し、高水準のコンクールとする。

更に、受賞作品を展示すると共に、作品集やホームページにて広報し、現代の高い技術と日本刀文化をアピールする。

作品受付 令和3年4月8日（木）～4月10日（土）

作品撮影 同 4月11日（日）～4月13日（火）

審査会 同 4月14日（水）～4月16日（金）

運営委員会 令和2年12月18日（金）

審査員選考委員会 令和2年12月

審査員会議 令和3年3月26日（金）

授賞式及び懇親会 同 6月6日（土）※会期初日

④ 第15回お守り刀展覧会（後援） 主催：全日本刀匠会

内容：全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展観
後援内容：後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等

2. 公益目的事業（不特定一般向け事業）〈公2〉

① 日本刀・刀装具鑑賞会、講演会、講習会

1) 公開鑑賞会

開催回数：（予定）年3回

会場：神田公園区民館ほか

内容：日本刀・刀装具・拵等を、会員に限らず一般にも公開し広く鑑賞して貰う
鑑賞の作法を教授したり、作品の解説を通して日本刀文化の普及に
努めることとする。併せて、必ず初心者を対象とした解説も加える。

新たにお刀手入れ方法教室も開催予定。

2) 特別鑑賞会（日本刀研究委員会鑑賞会）

開催回数：（予定）春秋各1回の年2回

会場：目白庭園「赤鳥庵」

内容：会員限定20名程度とし、日本刀・刀装具・拵等ともに名品を揃え、
より専門的な解説を行い目の肥えた刀剣ファンの研究意欲に応えられる内容とする。

3) 坂城町「日本刀講座」

春・秋の年2回開催。日本刀ワークショップも開催。

② 鍛錬道場見学会

デアゴスティーニ社と共催を計画（関東・関西・中国地方）

③ 東京アメリカンクラブ（東京都港区麻布台）での展示及び即売会開催

会期：令和2年12月15日～令和3年1月12日

2. 収益事業

① 新作日本刀・刀装具等の製作販売及び保存・修理の受託〈収1〉

長野市（松代文化施設管理事務所）、まちづくり坂城（坂城町）、その他、
紹介及び直接の問い合わせによる研磨・修理など

「日本刀お手入れ事業」の受託拡大

3. その他

広報活動の強化

他文化機関と連携し、当協会より日本刀・刀装具に関する講師派遣の実施、SNS等の活用による積極的な「広報活動」を強化し、自治体などにもPR範囲を拡大する。日本刀文化の認知度を高める活動を行う。併せて、新規会員増強を行う。

以上